



## みんなのでできる 地球温暖化防止活動

― 推進員として、楽しく活動をしていきたいです!! ―

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人つくしまNPOネットワーク)

■センターに、嬉しいメールが届きました…

「山形県南陽市から昨年夏に福島市に転居しました荒木です。福島県でも推進員の活動を始めたいと考えています」とセンターに連絡がありました。荒木芳春さんは71歳。電気管理技術士事務所を開設されています。山形時代は民間会社でエネルギー管理士として、工場全体の省エネ法に基づく管理やISO14000(環境マネジメントシステム)に関連する業務に従事していました。

■推進員になったきっかけ

山形大学工学部で客員教授も務めたそうです。「キャンパス全体のエネルギー管理や電気機器工学関連の講義を担当しました。必修科目「技術者倫理」の講義には「環境倫理」も含まれますので、地球温暖化防止に関心が高まり、退職後に現役時代の経験を生かして社会貢献活動をしたかったので推進員になりました。」

■地域の地球温暖化防止活動推進センター

地域の地球温暖化防止活動推進センターは、全国に現在59か所あります。都道府県に各1か所、政令都市などの市に12か所設置されています。荒木さんは、山形県地球温暖化防止活動推進センター(山形市)と連携して活動をしていました。福島県センターと山形県センターも仲が良いです。何か分からないことがあると、山形県センターの大場事務局長、長岡次長、二藤部事務局長、河合事務局長さんたちに連絡し、教えていただいています。

■みんなのでできる地球温暖化防止活動

荒木さんは現在、つくしま地球温暖化防止活動推進員です。福島でも、小学校や公民館へ出向き、牛乳パックなどを利用したりサイクル工作の支援活動をしていきたいとのこと。 「児童・生徒に温暖化のことを、身近な出来事から、的を絞って、繰り返し少しずつ教えるようにしています。易しく、優しく、分かり易く、欲張らずに少しずつが大切です。」

「桜が散ったのに雪が降りました。リングに雹が当たったり、温暖化の影響かなと思っています。自分の子や孫の時代を考え、地球温暖化という負の遺産をつくらないようになりたいですね。」

(Web) <http://fukushima-ondankaboushi.org/>